

JAよこすか葉山 海外旅行 定期積金

ご挨拶

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
 平素は、当JAの各事業に対し、特段のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、この度当JAでは「ヘルシンキ&バルト三国10日間」の旅ににご参加頂くための定期積金の募集を開始いたします。
 是非ともご家族、お知り合いの方などをお誘い合わせの上、多くの方々にご参加頂きますようお願い申し上げます。
 末筆ではございますが、皆様方のご健勝をご祈念申し上げますと共に、末永く当JAをご愛顧賜りますよう心よりお願い申し上げます。

■ **お申込方法**: 定期積金をご契約頂き、申込書にご記入の上お申込下さい。

■ **お積立条件**: 満期月 **2019年9月**
 契約額 **50万円以上**

■ **お積方式**: 毎月の積立金額 **25,000円以上**

■ **定期積金募集期間**: 平成**30年1月4日(木)**～**3月30日(金)**

■ **満期後のお支払い**

満期後、お客様のご希望により、(株)農協観光が企画・実施する「ヘルシンキ&バルト三国10日間」の旅に旅行代金に充当させることができます。なお、お客様のご都合により、当該旅行への不参加の場合は、満期金額全額をお客様がお受取頂けます。

■ **ご旅行のお申込み**

当ご旅行の行程等の内容につきましては、「予告版」としてのご案内となり、お申込を受付るものではありません。2019年3月頃に改めて正式な募集広告を定期積金ご契約者宛送付致します。

ご旅行に参加される方は、この正式書面をご確認後、(株)農協観光と募集型企画旅行契約を締結する事となります。なお、契約締結後お客様のご都合で旅行を取消される場合、別途取消料が必要となる場合があります。

当定期積金のお問い合わせは

JAよこすか葉山

武山支店 TEL046-856-2111
 長井支店 TEL046-856-1039
 北下浦支店 TEL046-848-0611
 久里浜支店 TEL046-835-0555

北久里浜支店 TEL046-836-5524
 衣笠支店 TEL046-852-0428
 逸見支店 TEL046-822-1186
 大楠支店 TEL046-856-8724

浦賀支店 TEL046-841-0303
 佐原支店 TEL046-834-5678
 野比支店 TEL046-849-6060
 葉山支店 TEL046-875-0111

ヘルシンキ& バルト三国 10日間

予告版



ヘルシンキ大聖堂のイメージ



トラカイ島城のイメージ

募集期間 平成**30年1月4日(木)**～**3月30日(金)** 旅行実施予定期間 **2019年10月頃**

詳しくは支店窓口にお問い合わせください。

ヘルシンキ & バルト三国 10日間

- 旅行実施予定期間：2019年 10月頃
- 概算旅行代金：お一人様 **500,000円**
※燃油サーチャージは別途必要になります。
※実施日の為替レートにより旅行代金変動する場合があります。

スケジュール					日程
横須賀・葉山	朝	送迎車	送迎車にて成田空港へ		
成田空港	11:00	航空機	フィンランド航空にてフィンランドの都・ヘルシンキへ		
ヘルシンキ	15:20	専用車	到着後、専用車にてホテルへ		〈ヘルシンキ泊〉
ヘルシンキ	終日	専用車	ヘルシンキ観光 (○ブッキーニ公園 & 展望台、○タンペレ大聖堂、 ○ムーミン谷博物館など)		〈ヘルシンキ泊〉
ヘルシンキ	午前	専用車	ヘルシンキ観光 (○ヘルシンキ大聖堂、○テンペリアウキオ教会/ロック チャーチ) ※ショッピング&フリータイムもご用意します。		
タリン	16:25	航空機	昼食後、空路エストニアの首都タリンへ		〈タリン泊〉
タリン	17:00				
タリン	午前	専用車	世界遺産 タリン市内観光 (○トームベア展望台、○アレクサンドル・ネフスキー大聖堂、 ○タウンホール、○ガドリオルグ宮)		〈タリン泊〉
タリン	午前	専用車	ラトビアの首都・リガへ ※途中、「ラトビアのスイス」と称される○スィグルダ 観光へご案内します。		
リガ	午後	専用車	昼食後、リガへ 到着後、ホテルへ		〈リガ泊〉
リガ	午前	専用車	世界遺産 リガ市内観光 (○聖ペテロ教会、○リガ大聖堂、○リガ城) 昼食後、バルトのヴェルサイユと称される○ルンダーレ 宮殿観光		〈リガ泊〉
リガ	午後		観光後リガへ		
リガ	午前	専用車	リトニアの第2の都市・カウナスへ ※途中、大小無数の十字架が立ち並ぶ十字架の丘観光 中世の面影が残るカウナス市内観光 (○杉原千恵記念館、○旧市庁舎) 昼食後、リトニアの首都・ヴィリニウスへ		〈ヴィリニウス泊〉
カウナス					
ヴィリニウス	午前	専用車	世界遺産 ヴィリニウス市内観光 (○聖ペテロ・パウロ教会、○大聖堂、○聖アンナ教会) ガルヴェ湖の小島に浮かぶ赤煉瓦の○古城トラカイ島城 へご案内します。		〈ヴィリニウス泊〉
トラカイ	午後	専用車	観光後、ヴィリニウスへ		
ヴィリニウス					
ヴィリニウス	午前	専用車	ホテルにて朝食 空港へ移動します。		
ヘルシンキ	11:30	航空機	空路、フィンランド航空にてヘルシンキへ		
ヘルシンキ	12:45/17:15	航空機	ヘルシンキより、成田へ		〈機内泊〉
成田空港	8:55	送迎車	成田空港到着後、送迎車にて横須賀へ		
横須賀・葉山					

※上記のコースは予定であり、変更になる場合がございます。
※宿泊都市については、一部表示されている近郊都市のホテルを利用することもあります。

各都市の目安							
○入場観光	○下車観光	○車窓観光	早朝	朝	午前	午後	夕刻
			4:00	6:00	8:00	12:00	16:00
						18:00	23:00
							4:00

● 日本発着時利用予定航空会社：フィンランド航空利用

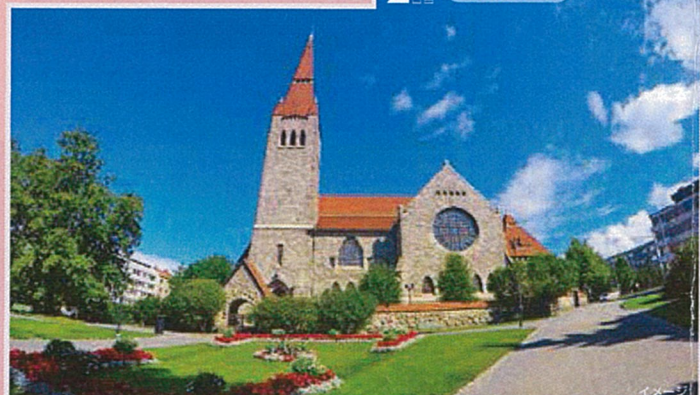
宿泊予定ホテル

※下記ホテルが同等クラスに変更になる場合もございますので、最終日程表にて、あらためてご案内いたします。

- ヘルシンキ ホリデイ イン ヘルシンキ 又は同等クラス
- タリン ノルディック ホテル フォーラム 又は同等クラス
- リガ ラディンブルー ダウガウア ホテルリガ 又は同等クラス
- ヴィリニウス ラディンブルー ホテル リエヴァ 又は同等クラス

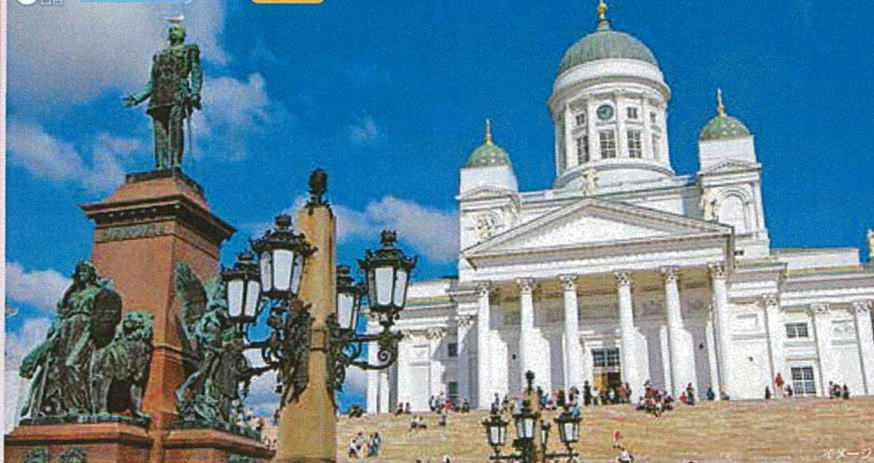
コースのポイント ● 世界遺産の美しい街々の散策と歴史の舞台を巡る10日間となります。 ● 世界遺産のリガ・ヴェリニウス・タリン歴史地区へご案内します。 **予告版**

1日目 横須賀 → 成田 → ヘルシンキ 2日目 ヘルシンキ

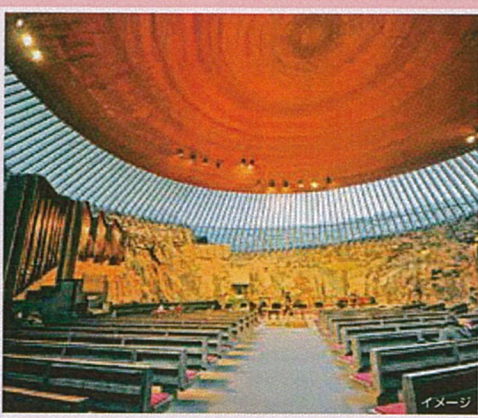


タンペレ大聖堂 ラール・ソングの代表作であるタンペレ大聖堂は、1902〜1907年に建築されたフィンランド・ロマン主義建築で、当時は聖ヨハネ教会と呼ばれていました。2,000人を収容する教会内では、マグヌス・エンケルによって描かれた大きな祭壇画や、ワーグナーの「ワグネルの天啓」や「死の庭」などといった有名な作品を見ることが出来ます。教会の6つある出入口の間に、それを囲む石壁には、6つの門が作られています。教会は1923年から大聖堂として役割を果たすようになり、現在は挙式会場やコンサート会場として人気があります。

3日目 ヘルシンキ → タリン

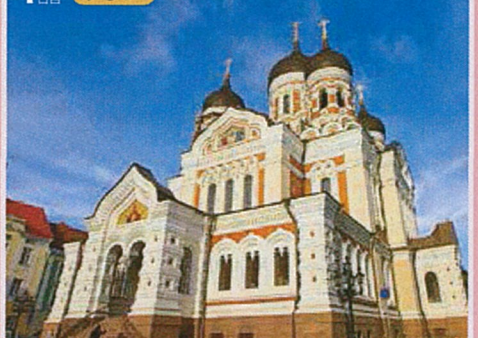


ヘルシンキ大聖堂 1917年のフィンランドの独立までは「聖ニコラウス教会」と呼ばれていました。今日最も有名なヘルシンキの観光名所です。毎年350,000人を越える人々が教会を訪れ、その中には宗教儀式に参加する人もいます。教会は通常、信仰の奉仕と結婚式のような特別なイベントに使用されています。大聖堂の屋根には12使徒の真鍮の彫刻があり、これは世界最大の真鍮彫刻のコレクションです。大聖堂はしばしばヘルシンキ市全体の象徴として使用されています。



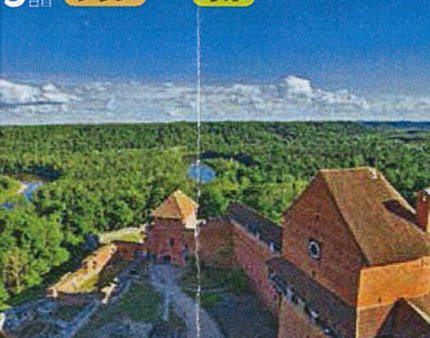
テンペリアウキオ教会 テンペリアウキオ地区に教会を造る計画は1930年代から存在し、ヘルシンキ工科大学の設計を担当したヨハン・シレンの設計案に沿って建設される予定でした。しかし、第二次世界大戦が勃発し、計画は一時中断されました。終戦後の1961年に改めてデザイン・コンペが開催され、スオマリネン兄弟による設計案が採用されることとなりました。予算の都合上、当初のプランの4分の1の大きさに縮小されたものの、1968年2月に建設が完了し、1969年9月には礼拝堂の聖別が執り行われました。

4日目 タリン



アレクサンドル・ネフスキー大聖堂 大聖堂の建つトームベアの丘には、エストニアの民族的英雄であるカレヴィ・ポエグが葬られています。大聖堂は多くのエストニア人からロシア支配を想起させるものとして嫌われています。エストニア当局は大聖堂の破壊を1924年に計画しましたが、実行に移される事はありませんでした。1991年、ソ連が崩壊してエストニアが独立を回復すると、大聖堂は綿密な修復を受けました。

5日目 タリン → リガ



スィグルダ スィグルダはリガから約53キロ離れたガウヤ川のほとりに位置し、その境界にはトゥライダとクリムルダの歴史の中心があります。スィグルダはガウヤ国立公園の一部であるため、街は森に囲まれ、川のほとりには砂の洞窟が数多く点在しています。街で一番のビューポイントではラトビアの美しい大自然を見渡すことができます。



6日目 リガ



聖ペテロ教会 1209年、石造りであったリガ市街に発生した火災で被害を受けたことがこの教会についての最も古い記録である。その後、主に三期に渡り大幅な増改築が行われ、一期から二期はゴシック建築、ロマネスク建築、三期は初期バロック建築といった建築様式で建設された。初期の建築は中間部の身廊の外壁と一部の柱にのみ残っている。

7日目 リガ → カウナス → ヴィリニウス

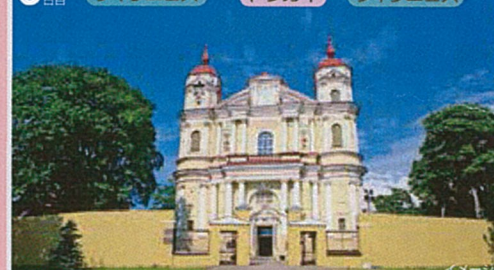


十字架の丘 1795年の第3次ポーランド分割で、リトニアはロシア帝国の領土に置かれることとなりました。ポーランド人とリトニア人はロシアに対抗して蜂起を起しました(1831年の11月蜂起、および1863年の1月蜂起)が、いずれも失敗に終わります。これら2つの蜂起はこの十字架の丘の始まりに関係しています。反乱兵の家族が、彼らの遺体のかわりに十字架を丘に建てたのです。数世紀を経て、十字架だけでなくイエスの受難像やリトニアの英雄の彫刻、聖母マリア像、肖像画、ロザリオなどもカトリック教会の巡礼者によって置かれるようになりました。十字架の正確な数は分かっていますが、約50,000であろうと推測されています。



旧市庁舎 中世には市場が立った市民広場にある、18世紀のバロック様式の建造物です。その外観の美しさから「白鳥」とも呼ばれています。帝政ロシア時代には政治犯の牢獄として、その後は皇帝の別荘としても使用されていました。現在は市の結婚登記所となっており、館内の一部は陶器博物館になっています。高さ58メートルの塔が何とも印象的です。

8日目 ヴィリニウス → トラカイ → ヴィリニウス



聖ペテロ・パウロ教会 聖ペテロ・パウロ教会は、ロシアからの解放を記念して建造された教会で、1668年から始まった作業は、外観に7年、内装には、30年もの歳月が費やされました。イタリヤから職人を招いて建設された内装は、壁から天井まで覆い尽くすように2,000以上の漆喰彫刻が施され、聖人、天使、想像上の獣、植物など多彩で、なかにはリトニアの戦史を描いたものもあります。



トラカイ島城 リトニアのトラカイ、ガルヴェ湖上に浮かぶ島の上に建てられた城。城は時折、「小さなマルボルク城」と呼ばれる。石造の城の建設は中世リトニアの君主ケストウティスにより始められ、1409年に彼の息子であるヴィタウタスにより竣工へと至った。彼は1430年にこの城で亡くなっている。トラカイはリトニア大公国において中心的な場所であり、城も戦略的に大変重要な位置にあった。

9日目 ヴィリニウス → ヘルシンキ 10日目 成田 → 横須賀

● ご旅行のお申込み

当ご旅行の行程等の内容につきましては、「予告版」としてのご案内となっており、お申込を受付るものではありません。平成31年3月頃に改めて正式な募集広告を定期積金ご契約者宛送付致します。
ご旅行に参加される方は、この正式書面をご確認後、(株)農協観光と募集型企画旅行契約を締結する事となります。なお、契約締結後お客様のご都合でご旅行を取消される場合、別途取消料が必要となる場合があります。

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第939号 一般社団法人 日本旅行業協会 正会員
株式会社 農協観光 神奈川支店
〒231-0002 横浜市中区海岸通1-2-2 JAグループ神奈川ビル1F
TEL. 045-201-7513
総合旅行業務取扱管理者： 志村 剛・橋本 健